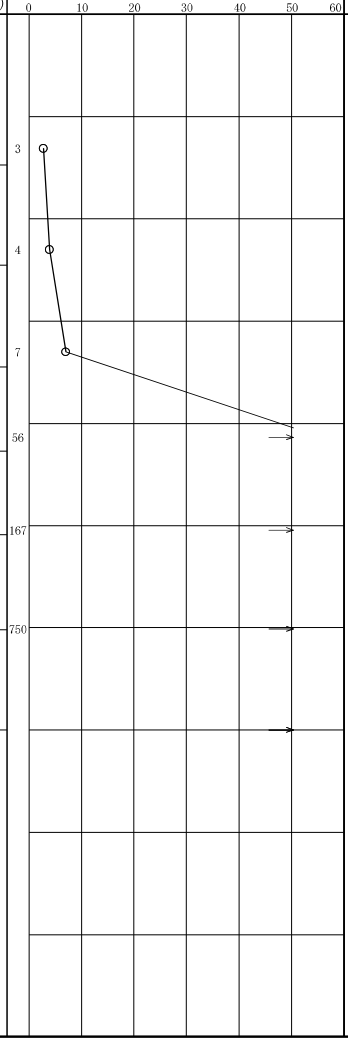
ボーリング柱状図

調　査　名	一般県道　乙瀬小方線　交通安全施設等整備事業に伴う調査設計業務委託(道路詳細設計)
事業・工事名	

ボーリングNo	

シートNo

ボーリング名	BorNo.3	調査位置	大竹市御園2丁目地内　(No.4+1.0　R-7.5m)			北　緯	34° 13' 54.4300"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	平成 30年 2月 16日 ～ 30年 2月 21日	東　経	132° 12' 50.2670"
調査業者名		管理技術者		照査技術者		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	21.15m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 15°
総掘進長	7.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機製D-0型	ハンマー落下用具	半自動落下装置	
			エンジン	ヤンマー製NF110C型	ポンプ	東邦地下工機製BG3型	

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値	原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
	20.65	0.50	0.50		礫混じり砂	暗褐灰			砂は細中粒砂を主体とする。 φ=10～40mmの角礫を混入する。 粘土分を混入。														
1					粘土質砂	淡褐	非常に緩い		砂は細粒砂を主体とする。 φ=5～30mmの角礫を混入する。 全体的に粘土分を多く混入する。		1.15 1.47	1/12	1	1	3/32	3							
2											2.15 2.45	1	2	1	4/30	4							
3	17.85	2.80	3.30								3.15 3.45	2	2	3	7/30	7							
	17.35	0.50	3.80		粘土混じり礫	暗灰			φ=5～40mmの角礫を主体とする。 マトリックスは粘土混じり砂状。														
4					強風化泥質岩	暗灰～淡茶褐			泥質岩の強風化岩。 コアは粘土混じり礫状～岩片状を示す。 深度5.0～5.7m間、含礫泥岩。深度5.7～6.0m間、砂岩。 岩級区分はD級と判定。		4.00 4.27	9	15	26/7	50/27	56							
5											5.00 5.09	50/9			50/9	167							
6	14.85	2.50	6.30							2/21 5.98	6.00 6.02	50/2			50/2	750							
7	14.15	0.70	7.00		風化泥質岩	暗灰			泥質岩の風化岩。 コアは岩片～短柱状を示す。 岩片はハンマの軽打にて濁音を発し、崩れる。 亀裂は45°および5°～15°の低角度が主体。 岩級区分はCL級と判定。		7.00 7.00	貫入不能			50/0								2/19
8																							
9